

ちょっとひとこと

ひとこと——調査票に書いてもらいました。皆さんの意見もいろいろで、その中から次のようなものをひろってみました。

〔小坂-Aさん〕

市が農政対策を立て事業を実施する場合、もっとそれをよく検討し、煮つめた形で指導してほしい。事業としては毎年、何かを行っているようですが、最後にはっきりとした形で、農家の利益につながったものがないように思います。

〔西酒屋-Bさん〕

農協、市の組織の強化活動の充実とあわせ、助成事業の促進をより一層強化してほしい。

〔上吉上-Cさん〕

米のたりないときは裸供出、余剰米が出ると買い入れ制限…規模拡大といっても思いきってやる気にはならない——もっと先の明るい経営指導をお願いしたい。

〔中山-Dさん〕

若い者が農業に希望をもって働ける指導と農地の基盤整備を実施し、農業の未来に夢を持たせてほしい。

〔庄瀬-Eさん〕

農地の基盤整備には賛成だし多くの人もまた必要と考えていると思う。しかし農家の経営が苦しいので、これ以上負担がかかるのをおそれるあまり反対す

る。または思いきりがつかない人が多いと思う。

〔山崎興野-Fさん〕

農業をやって行く気持ちはありますが、その目まぐるしさについていけない気がする。とくに資金のことなどを考えると不安です。

〔西笠巻新田-Gさん〕

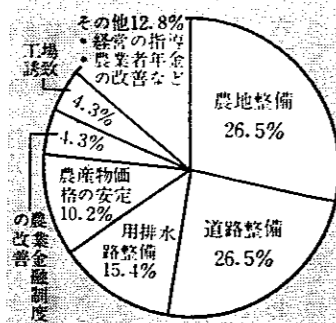
この振興計画が単なる計画作りにならないよう……。国、県の農政の先取りするくらいのものであってほしい。

〔鍋湯-Iさん〕

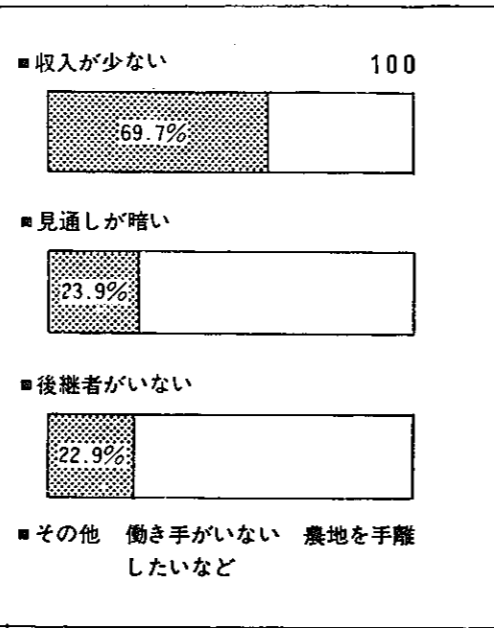
今後の農業は、若い人たちが魅力を持つものでなくてはならない。そのためには一日も早くほ場整備を実施し、忙しさに追まわされない楽しい希望のあるものにしてほしい。

〔上茨-Jさん〕

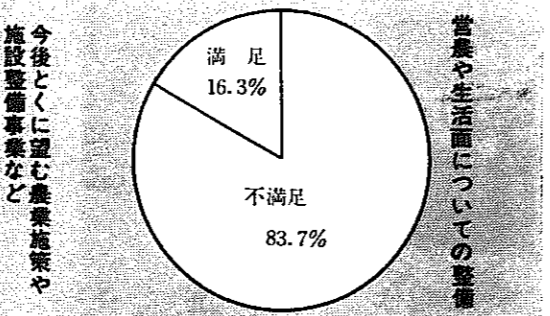
工場あるいは住宅地造成などで、農地がつぶれることがあると思いますがその場合は、虫食い状態にならないよう市の指導をお願いします。



兼業あるいはやめようと考えている人の理由



から水稲と他の農業部門にも、同時に力を入れてやりたいと答えた人が意外と多いことです。中でも果樹栽培は、生産から流通までのシステムが比較的にスムーズに行っていること、収入も悪くない、水稲作業と両立させている農家がみられるなどか、人気があるようです。また、農業をとりまく生産基盤と生活環境面からみた場合、現在の環境では不満と答えている人がほとんどで、一日も早い基盤整備やモデル事業の完成が望まれます。それと同時に、今後は、若者が魅力を持つ農業への脱皮が必要——そのためには、経営者自身の意欲と質的向上が、新しい農業をめざす大きなポイントといえます。



営農や生活面についての整備

意識調査から……

少ない収入に悩み



農業、農業、農業

規模拡大を望む声も

質問項目は十四問、そのおもなものについてはグラフで表わしてみました。結果は、これからも農業中心に生計を立てると答えた人が七四%と圧倒的に多く、経営規模の拡大を望んでいるという人も同じ率となっています。このことは、機械化の進んで

いる中で、より便利な経営をするには、規模を拡大した方が有利ということかも知れません。ただ、その方法としては請負でやりたいと答えている人が多く「土地を買い手が高い」「農業をやめた人でも土地は手離したくない」といったことから現われと思えます。

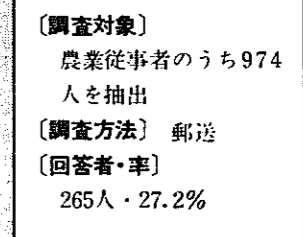
水稲中心から複合経営へ

この調査ではもう一つの特徴がみられます。それは水稲主体

この調査は、現在、市が進めている『農業振興計画』の作成に役立てるために実施されました。

この振興計画は、これからの本市農業の歩む方向を示す青写真——昭和55年を目標とし、生産の面や環境整備などの面からいろいろとらえ、明るい豊かな農村を、築いていこうとするもの。

調査票は、農業従事者のうち974人に発送。このうち265通の回答が寄せられました。



将来の農業を見通した場合今後どうされますか。

